

海水資源・環境セミナー

URL : <http://www.swsj.org/p11/kaisuisigen/kaisuisigenf1.html>

日本海水学会海水資源・環境研究会では、海水資源・環境セミナーを開催いたします。本セミナーは勉強会と位置づけていまして、多くの方々にご参加頂いて活発な意見交換をして頂きたいと思っております。

主催：日本海水学会 海水資源・環境研究会
日時：2016年1月15日(金) 14:00~17:00
セミナー終了後、技術交流会を開催いたします。(17:15~18:45を予定)
場所：千葉工業大学津田沼キャンパス7号館4F7405教室 (前回と異なりますのでご注意ください)
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1
JR総武線/津田沼駅(南口)下車 徒歩1分
京成線/京成津田沼駅下車 徒歩15分
新京成線/新津田沼駅下車 徒歩3分
<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/tsudanuma.html>
◇次ページのアクセスマップを参照ください◇

概要：

○水再生処理技術およびリンを含む資源回収技術の開発

水ing株式会社 島村 和彰氏

今日の下水処理では単に下水を浄化するだけではなく、各種資源を回収する試みを行っています。例えば、下水処理水を更に浄化して再生水の有効利用を図ったり、汚泥を消化しメタンガスとしてエネルギーを回収したり、肥料として再利用可能なリンを回収したりしています。ここでは、水再生及びリン回収技術について事例を紹介して頂きます。

○イオン交換膜製塩法と海水資源回収の現状

ダイヤソルト株式会社 小川 襲氏

わが国では岩塩や天日塩などの塩資源に恵まれないことから、独自の製塩法が開発されてきました。狭小な国土と乏しいエネルギー資源の条件下で、効率良く海水から塩を取り出すイオン交換膜製塩法と、それを利用して実施されている海水資源回収について紹介して頂きます。

○海水総合利用技術研究開発の現状と課題

公益財団法人 塩事業センター 海水総合研究所 長谷川 正巳氏

海水からの資源回収および利用技術については、これまでも同氏が中心になって検討したプロセスを研究会の場において議論して参りました。今回はこれまでに検討した研究開発内容を解説して頂くとともに、併せて今後解決すべき課題を提起して頂きます。

参加費：3,000円

申込方法：氏名、所属、連絡先(住所、電話番号、E-mail)を以下の申込先にE-mail等でご連絡下さい。

申込・問合せ先：〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂4-13-20

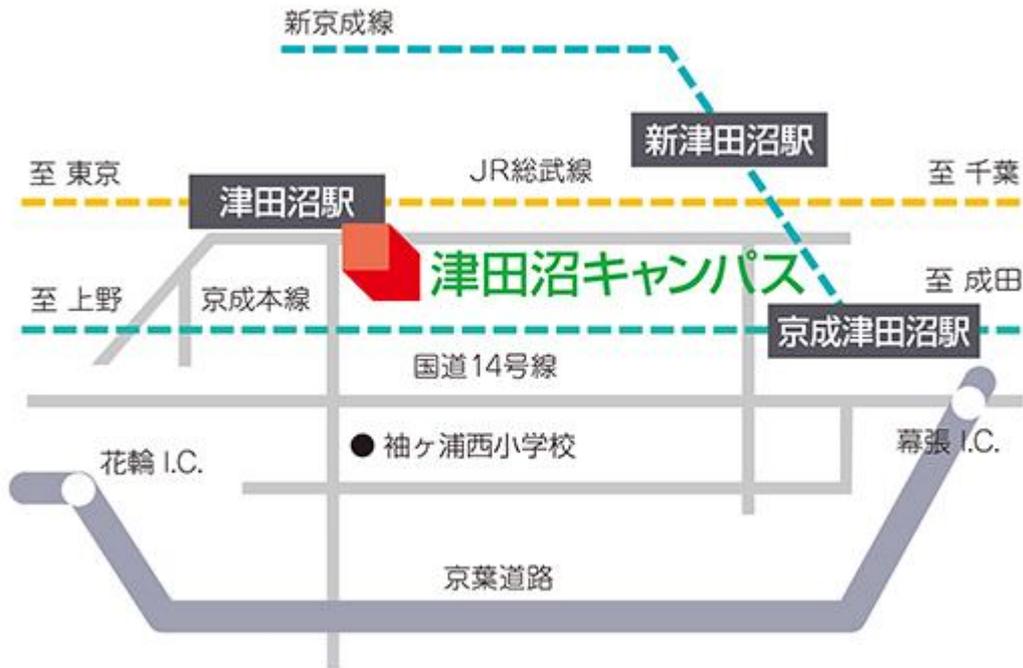
公益財団法人塩事業センター海水総合研究所 (担当：加留部、鴨志田)

Tel: 0465-47-3161, E-mail: shigen@swsj.org

申込締切：1月12日

当日の問合せ先：090-3473-5113(鴨志田)

千葉工業大学津田沼キャンパスアクセスマップ



千葉工業大学津田沼キャンパス内マップ

